

令和2年度始良市モラリティ・インプルーブメント推進事業
始良市立始良小学校実践発表会

学校・家庭・地域で共に育む道徳性
～あいらっ子「思いやり」いっぱい大作戦～



「あいらっ子『思いやり』いっぱい大作戦」とは
本校の教育目標である「思いやり」の心を育てるため
に、①学校 ②家庭 ③地域それぞれが行ってきた活動、
④三者が連携して行ってきた教育実践です。

学校



家庭



地域



令和3年2月10日(水)
始良市立始良小学校

作戦1:学校で



道徳科授業



深く考え



議論する



あいらの木



「思いやり」の壁画



「あいさつ名人」表彰



門礼



きらりボトル



在校生から卒業生へのメッセージ



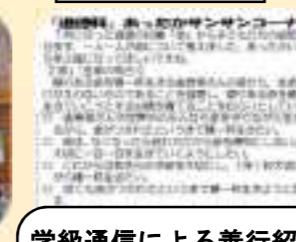
花と絵と歌と本のある学校



モーニングメッセージ



福祉体験授業



学級通信による善行紹介



規範意識を高める掲示物

作戦3:地域で



重富海岸干潟で生き物探し体験



和菓子作り体験



星空教室



ミニ門松作り



花屋さん取材

あいらっ子見守り隊の活動



民生委員によるあいさつ運動



写真屋さん取材



作戦4:学校・家庭・地域が一体となって



心の教育を語る会

ゲストティーチャーを活用した道徳科の授業



民生委員

お菓子屋さん

民生委員

学年部ごとの打合せ

コミュニティ会長

元PTA会長

見守り隊



食育の授業



SSVC+ (ふれあい教室・ミシン学習)

作戦2:家庭(PTA)で



PTAあいさつ運動



思いやり部餅つき



PTA読み聞かせ



PTAバザー



学年集会での講話



二分の一成人式



授業への協力(豆腐作り)



親からのお手紙(道徳科)

モラリティ・インプルーブメント推進事業とは

子どもたちの道徳性を育てていく中で、確かな自立へ導き、社会（公共）に貢献できる人づくりを社会全体で協働して取り組んでいこうとする事業で、始良市子育て基本条例を具現化するものです。（モラリティ＝道徳性、インプルーブメント＝向上）

学校・家庭・地域が協力して、思いやりや感謝の心などの子どもたちの道徳性を高めていくはたらきかけを意図的・計画的に行っています。

重点となる4つの提言（「始良っ子の道徳性を育むために」リーフレットより）



成果と課題

【成果】

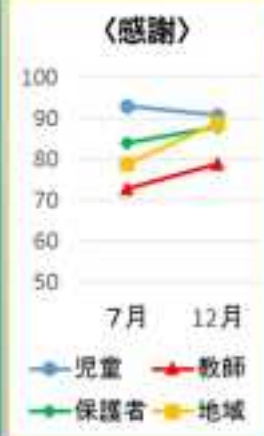
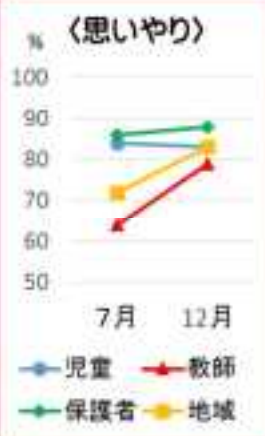
- 三者が授業や教育を語る会等で語り合う機会が増え、お互いの距離が縮まり、絆が深まった。
- 地域人材から、直接子どもたちに、思いを語っていただくことで、心の琴線に触れることができた。
- 三者が課題を出し合い、実践に向けて具体的に動き始め、学校を核とした体制づくりが整ってきた。
- 教師自身が、三者連携の効果を実感し、よりよい授業を目指し、共同の研究・実践を行うようになった。
- 道徳科に限らず、あらゆる教科や行事で家庭への協力要請やSSVC+活用が推進されるようになった。

【課題】

- ◇ 人材活用が活発になるほど日程調整や打合せ時間確保が難しくなり、早めの計画立案と調整が必要である。
- ◇ あらゆる活動SSVC+の積極的活用を図っていくために、更なる人材の洗い出しとリスト作成が必要である。
- ◇ 現在、子ども会加入率は53%で約半数。地域の教育力の啓発、三者が一体となった加入促進が必要である。
- ◇ 今年度は、コロナ禍の中で子どもたちの道徳性を高めることを目的とした様々なPTAや地域の行事がやむなく中止となっている。次年度からの活動に期待している。学校としても積極的参加を呼びかけていく。
- ◇ モラリティ・インプルーブメント事業は、この発表会をもって終わりではなく、ようやく基盤作りができたと捉え、さらに意識を持続し、さらなる充実を図っていきたい。

児童・教師・保護者・地域関係者によるアンケート結果

7月と12月に、全学年児童・教師・保護者・地域関係者を対象に、児童の実態について共通項目でアンケートをした結果の推移（テーマに特に関係する4項目を抜粋）



1月9日（土）、6年生とPTA有志の方で行った校舎屋上の「思いやり」看板の塗り直し作業後の一枚